

4 わたしたちにできること

1 わたしも大切 あなたも大切

人間らしく生きるために

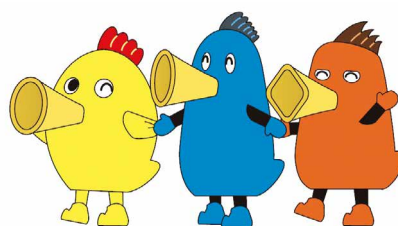
すべての人間は、生まれながらにして自由・平等であり、人間らしく生きる権利^{けんり}をもっています。したがって、障がい^{しょうがい}のある人もない人も、高齢^{こうれい}者^{しゃ}であっても子どもであっても、一人ひとりが尊重^{そんちょう}されなければいけません。

一人ひとりを尊重するということは、わたしたち一人ひとりが、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め^{みと}ていくことです。

※「おおいた人権フェスティバル」では、子どもから大人まで様々な年代の市民が参加交流できる啓発活動^{けいはつ}、人権の大切さを考える講演会^{こうえん}や演劇^{えんげき}、人権作品コンクールなどを行っています。



●おおいた人権フェスティバル



大分市人権イメージキャラクター「キズナーズ」

人と人とのつながりを

あなたは、学校で困^{こま}っている友だちがいたら、どうしますか。きっと声をかけ、何かできることはないかを一緒に考えると思います。

もし、地域^{ちいき}で困っている人がいたら、学校で友だちに声をかけるように、進んで声をかけ、何かできることがないかを一緒に考えると、地域の人とのつながりも深まっていきます。

相手の立場に立って

自分にとっては特に気にならないことでも、相手にとっては言われたくないことや話したくないことがあります。

また、「障がいのある人は、かわいそうな人だ」と決めつけた見方をしたり、「高齢者は、あまり出歩かず、家にいた方がいい」と自分の考えを相手におしついたりすると、相手を傷つけてしまうことがあります。

人と人がつながるためには、相手の立場に立って考えることが大切です。



●人権啓発センター（ヒューレおおいた）での高齢者擬似体験活動

自分のこととして

だれもが年をとり、いずれは高齢者になります。また、だれもが生活の中で車いすやつえなどを必要とする可能性^{かのうせい}があります。

わたしたちは、高齢者や障がいのある人にとって住みやすいまちづくりをしていくことを、他人ごとではなく、自分のこととして考えていくことが大切です。



●2024 大分市人権フォトコンテスト入選作品
「じいちゃんとおひ孫」

大切なのは行動すること

わたしたちは、一人ひとり個性があり、得意なことや好みなどがちがいますが、大切な存在であることはみんな同じです。

だれもが幸せに暮らせる住みやすいまちづくりを進めていくためには、一人ひとりが、様々な人のために自分にできることを考え、行動することが大切です。



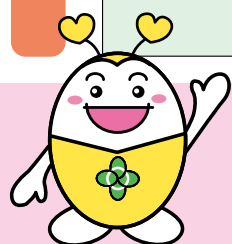
●おおいた人権フェスティバル
人権ポスター優秀作品

心をつなぐ言葉

あいさつ運動



小さな親切運動



みなさんの学校での「あいさつ運動」「小さな親切運動」の取り組みをふり返ってみましょう。

2 ボランティア活動

ボランティアとは

ボランティアとは、住みよい社会をつくるために、自分から進んで社会や人のために役立つ活動をしている人たちのことをいいます。

ボランティア活動は、心と心のふれ合いをめざす思いやりと助け合いを大切にする活動です。やさしい思いやりの気持ちがあれば「だれでも」「いつでも」「どこでも」できる活動です。



●ボランティア活動啓発・普及ポスター

学校でのボランティア活動

多くの学校で、いろいろなボランティア活動が、積極的に行われています。この活動を通して、人と人とのふれ合いを深め、相手の立場や気持ちを理解し、おたがいに協力し合って生きていくことの大切さを学びましょう。



●ボランティア活動をする小学生

そして、ボランティア活動を体験することによって、やさしさや思いやりのある心を育て、学校だけでなく、日ごろの生活の中で、取り組むことができるように努力しましょう。

人のためになる大切なボランティア

児童作文

私たちの西の台小学校には、ボランティア委員会があります。ボランティア委員会の主な活動は、①空き缶・ペットボトルキャップの資源の再利用②「書き損じはがき」の寄付の二つです。

①では、各家庭で出た空き缶とペットボトルキャップを毎週二回に分けて回収しています。集まった数を昼の放送で知らせ、全校のみんなに呼びかけています。その集まった空き缶で車椅子を買って、福祉施設に寄付しています。ペットボトルキャップは、お店に持っていき、「世界の子どもにワクチンを届ける活動」として参加しています。「病気で苦しむ世界の子どもたちの力に少しでもなれたらいいな。」と思っています。

②では、一月に「ユニセフと愛のともしび運動」の活動に参加し、「書き損じはがき」「使用済み切手」の回収をしています。毎年、たくさんの「書き損じはがき」「使用済み切手」を全校のみんなが持ってきてくれます。一人ひとりの力は小さいけれど、西の台っ子みんなで力を合わせて、大きな力にしていきたいと思います。困っている人たちの力になれることが、とてもうれしいです。

これからも、もっと多くの人の役に立つようなボランティア活動を目指して、がんばっていききたいです。



●空き缶とペットボトルキャップの回収

3 さまざまなボランティア

思いやりのある、温かいまちづくりのために、家庭や地域、会社などで多くの人たちが活動に取り組んでいます。



家庭で

- ・高齢者との手紙交かん
- ・空きかん集め
- ・募金の協力
- ・花のなえづくり
- ・留学生の受け入れ
- ・ベルマーク集め
- ・書きそんじのはがき、使用済み切手、ペットボトルキャップ集めなど

地域で

- ・高齢者訪問
- ・交通安全のための活動
- ・地域の人々との交流
- ・あいさつ運動
- ・清掃活動
- ・空きかん集め
- ・子ども会や敬老会の手助け
- ・地域の伝統文化、郷土芸能の伝承など
- ・登下校時の見守りパトロール

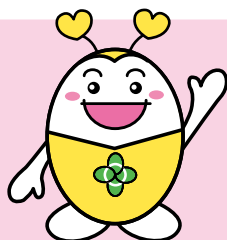
ボランティア活動の輪

施設で

- ・高齢者の話し相手
- ・清掃活動
- ・施設行事への参加
- ・身の回りの手助けなど
- ・演劇や歌などでの訪問

会社などで

- ・通院などの高齢者の送げい
- ・施設内の水道や電気などの点検活動
- ・地域行事のお手伝い
- ・国際援助のための物資集め
- ・理容美容サービスの提供
- ・地球環境保護活動
- ・講演会や演奏会、美術展などの開催



わたしたちのまちでは、たくさんの人がさまざまな所でボランティア活動をしています。上の表を見て、参加したことがあるもの、見たり聞いたりしたことのある活動について書いてみましょう。

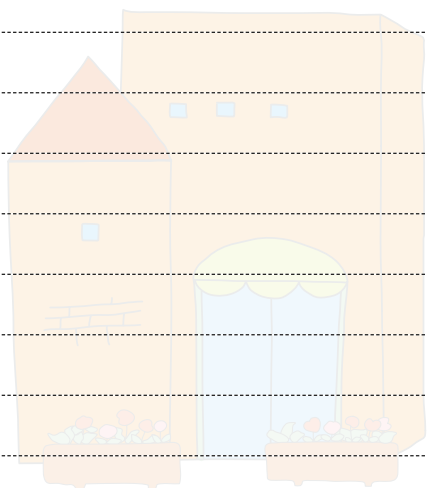
参加したことのある活動	
見たり聞いたりしたことのある活動	

4 わたしたちもやってみよう

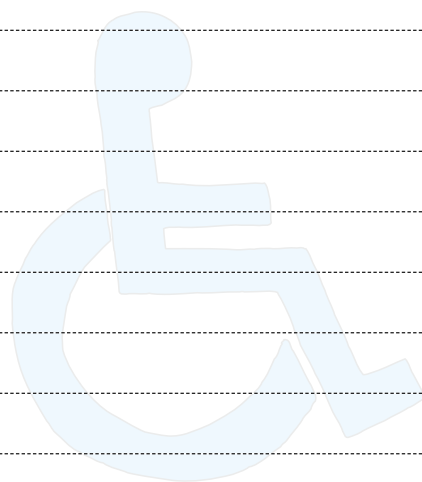
ボランティア活動の輪は、家庭や地域でずいぶん広がっています。その活動内容もさまざまです。そのどれもが、みんなの幸せや、明るく住みやすいまちづくりを願って活動しています。

自分で取り組みそうな活動を見つけて書いてみましょう。後で、その活動をしたときの様子や気持ちも書きましょう。

●きれいなまちに



しょう ●障がいのある人に



●手話

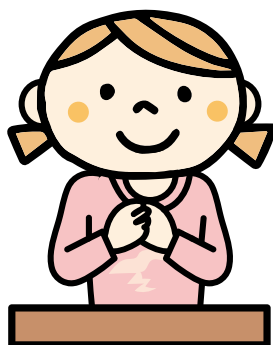
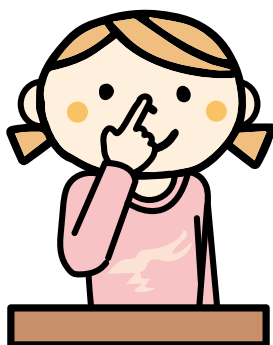
手・指・体を使って表現する耳に障がいのある人のための言葉です。

わたしと

おともだちになりましょう

よろしく

お願いします



ボランティア活動の心構え

- ① まず、あなたの身の回りの気づいたことからやってみましょう。
- ② 相手は何を求めているか、相手の気持ちになってみましょう。
- ③ 無理をせず、自分の生活のリズムに合わせましょう。
- ④ たくさんのことを学んで、自分自身を高めていきましょう。

● 高齢者に



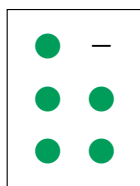
● こま 困っている人に



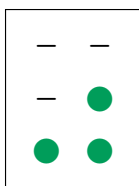
● 点字

たて3こ、横2この6この点を1ますとして、ふくらみの点の組み合わせを指先で読み取る、目に障がいのある人のための文字です。

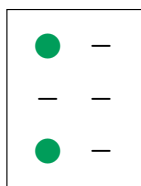
み



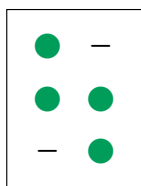
ん



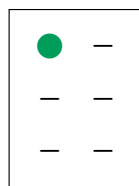
な



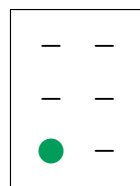
し



あ



わ



せ

